

研究名：無痛分娩時の硬膜外麻酔を帝王切開術の麻酔に移行させた症例についての検討

1．研究の目的

硬膜外麻酔による無痛分娩の利点のひとつとして、帝王切開術が必要となった際に留置している硬膜外カテーテルを使用することで、全身麻酔を回避して迅速で安全に手術麻酔に移行できることが知られています。

本研究は、無痛分娩から帝王切開術に移行した患者さんに留置されていた硬膜外カテーテルが有効に使用できたかどうか、また硬膜外カテーテルを使用できた方と使用できなかった方の無痛分娩経過に違いがあったかを調べるものです。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2021年4月から2021年9月までに無痛分娩から帝王切開に移行した方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月

研究方法：無痛分娩から帝王切開に移行した方を診療録から抽出し、無痛分娩と帝王切開術の麻酔記録、患者さんの情報を診療録から調べます。

3．研究に用いる情報の種類

無痛分娩の麻酔記録、帝王切開時の麻酔記録、診察所見、病歴、検査データ 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守されます。**

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2022年3月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 手術集中治療部 麻酔科 阿部真友子（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7964）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 手術集中治療部 麻酔科 阿部真友子（責任者氏名）